

4) 吉田順五, 1953: 雪の粘弾性及び雪の破壊抵抗. 低温科学, 10, 1-12.

** 水野長輝

気象研究所・前気象測器研究部長
昭和43年4月 福井地方気象台長に就任
昭和44年9月 逝去

第16期 第6回常任理事会議事録

日時 昭和46年2月8日(月) 15h~18h

場所 気象庁観測部会議室

出席者 山本, 大田, 関口, 北川, 小平, 川村, 関原,
神山, 大井, 伊藤, 岸保, 駒林, 各常任理事

列席者 窪田長期計画委員長, 鈴木庶務委員

報告抜萃

[庶務]

1. 12月21日, 日本海洋学会外5団体連名で第2回国際海洋開発会議展示会に対し, 協賛名義使用方の協力依頼がきた。(議題とする)

2. 1月21日, 第9回原子力総合シンポジウム運営委員長から, 同シンポジウムを2月15日~16日国立教育会館で開催すると案内がきた。

3. 1月6日, 国際放射シンポジウム組織委員会および実行委員会委員予定者に対し, 委員に就任承認方の依頼をした。

4. 1月18日, 気象庁長官に対し, 気象庁が国際放射シンポジウムを後援し, また気象庁職員が組織委員会, 実行委員会の委員として参加し, 協力されるよう依頼した。(結果) 協力すると回答あり。

[ノート] 第106号を2月20日発行する。

[学術会議] 沖縄の科学者に選挙権を興えるよう政府当局に要望中

[学会賞] 学会賞については現在18通推薦状が来ている。天気12月号に2月3月〆切りの賞または奨励金の募集要項を掲載した。(朝日学術奨励金は3月1日〆切り, また藤原銀次郎賞, 山路自然科学奨励金は2月28日〆切りのはずだが, まだ要項が出ていない。)

[外国文献集] 未だ許可のこない原稿若干について転載許可をお願いしている。

議題

1. 春季大会の会期および日程の変更ならびにシンポジウム, 会場費等について

- 会場の都合により5月24~27日に変更
- シンポジウムの題目は, 「環境汚染」とする。
- 会場費の件については先回の常任理事会決議を再検

討した結果, 今回は適用しないことにする。

なお春期総会で充分PRし, 秋季大会より徴収出来るよう努力する。大会費は5万円増額するよう努力する。

2. 秋季大会の会期の延長, シンポジウム等について
◦ 会期は昭和46年10月5日~8日とする。

◦ 大会費用は5万円増額し, これに会場費を徴収して実施する方向で検討する。

◦ シンポジウムの題目は当番支部の申出に基き長期予報の基礎となる大循環の変化を内容とするものとする。

3. 故正野教授記念論文集について

◦ 35名の執筆者で400ページ, 500部印刷の予定で進める。

◦ 頒布価は単価3,000円とする。

◦ 50万円程度の募金を行なう。

◦ 若干の学会負担を考慮する。

4. 第9期学術会議会員候補者推薦選挙について

◦ 投票用紙を天気にとじ込み, これに無記名で2名の候補者名を連記し, これを封筒に入れ投票者の所属地区と氏名を記載して投票する方式とする。

◦ 選挙費用は2万円とする。

5. 気象学長期計画の進め方について

◦ 春季大会中に非公式会合を開く。

6. その他

(1) 気象大学校で天気 of “入門講座” をテキストとして使用するため, 別冊として再解説, 問題等を大学校で編集することを了承する。

(2) 気象研究ノートの編集費を106号より増額する。ページ単価原稿料660円, 編集費180円とし, 広告通信費は事務局で支払うようにする。

(3) 第2回国際海洋開発会議展示会の協賛名義使用を承認する。

承認 通常会員樋口登志夫外22名の入会を承認する。